



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社
 コード番号 8281 URL <https://www.xebio.co.jp/ja/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸橋 友良

問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員 (氏名) 中村 和彦

TEL 03-6870-6008

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	149,662	14.0	2,427	47.0	3,094	38.3	888	46.3
2020年3月期第3四半期	173,948	0.2	4,578	30.2	5,015	29.5	1,655	54.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,004百万円 (41.9%) 2020年3月期第3四半期 1,727百万円 (50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.10	20.04
2020年3月期第3四半期	37.45	37.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	214,341	116,892	54.3	2,632.54
2020年3月期	182,921	117,251	63.8	2,640.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 116,388百万円 2020年3月期 116,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.50		15.00	32.50
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,586	7.9	3,049	41.9	3,749	35.8	149	63.3	3.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	47,911,023 株	2020年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,699,657 株	2020年3月期	3,699,427 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	44,211,394 株	2020年3月期3Q	44,211,842 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出を受けた休業要請や外出自粛の強まりを背景に個人消費は大きく落ち込みました。緊急事態宣言の解除後は経済活動の再開に伴い個人消費に持ち直しの兆しが見られましたが、11月以降は新規感染者数が再び増加傾向となり、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

スポーツ用品販売業界におきましては、全国高等学校体育連盟、全国中学校体育連盟によるインターハイや体育大会夏季大会、秋季大会の中止、部活動を始めとする学校活動の縮小などスポーツ機会が抑えられるなどの影響を受けました。一方で、コロナ禍で心身ともに健康的なライフスタイルを送る上で、スポーツやレジャー活動の重要性が改めて高まっております。

競合環境につきましても、衣料品における周辺領域との垣根の低下と価格競争の激化、メーカー直販ECサイトの拡大傾向は持続しており、競争環境は厳しくなっております。

この様な状況のなか、当社グループは、市場環境への変化対応に注力して参りました。スポーツ関連用品は新生活様式に必要なアイテムであり、お客様のライフラインの一環であるとの認識のもと、店舗や本社における感染拡大防止策を講じた上で、社員やお取引先様のご協力をいただきながら、事業の継続性を担保できる体制で事業を運営するほか、3密回避のレジャー、スポーツと外出自粛に関連する商品の販売を強化しました。しかしながら、都市部や大型ショッピングセンターを中心に来店客数が伸び悩んだことから、累計業績では減収になりました。一方で、販売価格の適正化による売上総利益率の改善と、広告宣伝費や人件費、及び店舗費を中心とした販管費の削減を進めました。

新規出店及び閉店につきましては、継続して店舗のスクラップ&ビルドを推進しております。当第3四半期連結累計期間では23店舗を出店し17店舗を閉店しました。

これらにより、当第3四半期末におけるグループの総店舗数は866店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて672坪減少して196,247坪となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,496億62百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益24億27百万円（前年同期比47.0%減）、経常利益30億94百万円（前年同期比38.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億88百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

〔主な商品部門別の営業概況〕

当第3四半期連結累計期間では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響を受け来店客数が大幅に減少したことで、売上高は前年同期比較で低調に推移しました。なお、第3四半期連結会計期間においては、気温低下と降雪、ECの強化、及び前年に消費増税の反動があったことなどから、前年に対し増収となりました。

＜ウィンター用品・用具部門＞

ウィンター用品・用具は、12月の気温低下と降雪に加え、若年層におけるスノーボー需要の復調もあり、東日本を中心に好調に推移しました。以上の結果、ウィンター用品・用具部門の売上高は、前年同期比6.7%の増加となりました。

＜ゴルフ用品・用具部門＞

ゴルフ用品・用具は、3密回避の対応により比較的プレー環境が持続できたこと、ビギナーの増加や、新商品の販売キャンペーンの実施などにより、比較的堅調に推移しました。以上の結果、ゴルフ用品・用具部門の売上高は、前年同期比5.4%の減少となりました。

＜一般競技スポーツ・シューズ・スポーツアパレル部門＞

一般競技スポーツ・シューズ・スポーツアパレル部門では、マラソン大会を含む競技大会の中止や外出自粛による春の新生活・部活動需要の大幅縮小を要因に客数が減少しました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比24.9%の減少、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比14.4%の減少となりました。

＜アウトドア・その他部門＞

アウトドア・その他部門では、気温の低下により防寒衣料商品が好調に販売を伸ばし、3密回避のレジャーとしてキャンピング用品が目されましたが、感染予防として全国の山小屋が休業していた影響などもありトレッキングが伸び悩みました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比15.6%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、在庫適正化に向けた在庫コントロールにより商品が減少し、現金及び預金が増加しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ314億20百万円増加し2,143億41百万円となりました。

負債は、販売状況に対応した仕入を行ったことから支払手形、買掛金及び電子記録債務が増加し、銀行借入により長期借入金が増加しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ317億78百万円増加し974億49百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3億58百万円減少し1,168億92百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染は、11都府県での2度目となる緊急事態宣言の発出や入院患者病床使用率の高止まりを受けて、ウイルスの収束時期だけでなく経済回復時期においても不透明な状況であり、急速な回復は見通せない状況であると予想します。当社グループでは、中長期的な視点のもと、グループ全体の収益構造改革への取組みを開始しました。事業の選択と集中、変貌する市場に対応するための施策の実行を進めて参ります。国内小売事業においては、店舗立地に合わせたMD展開、ライフスタイルの変化に合わせた商品構成の変更を実施し、リアル・オンライン共に販売を強化して参ります。同時に、密を避けるための十分なスペースを確保した店舗作り、店舗オペレーションの見直しを図り、デジタルを活用したサービスの提供をするなど顧客満足度向上への取組みを強化して参ります。以上に基づき、2021年3月期の通期連結業績は、売上高2,075億86百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益30億49百万円(前年同期比41.9%減)、経常利益37億49百万円(前年同期比35.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億49百万円(前年同期比63.3%減)を見込みます。

〔新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報〕

新型コロナウイルス感染症の拡大の進展によっては、休校・外出自粛やソーシャルディスタンスの実行によるスポーツ用品需要の変化や減少、及び店舗の休業や営業時間短縮に起因した来店客数の減少が発生することが考えられます。これらの場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,493	39,178
受取手形及び売掛金	19,654	25,237
営業貸付金	1,508	1,207
商品	75,343	73,919
未収還付法人税等	470	561
その他	9,340	9,817
貸倒引当金	△413	△463
流動資産合計	118,397	149,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,694	49,404
減価償却累計額	△33,970	△34,859
建物及び構築物(純額)	14,723	14,544
土地	15,426	15,431
リース資産	2,345	2,652
減価償却累計額	△887	△977
リース資産(純額)	1,457	1,675
建設仮勘定	93	59
その他	19,849	20,208
減価償却累計額	△17,235	△17,737
その他(純額)	2,614	2,470
有形固定資産合計	34,316	34,182
無形固定資産		
のれん	2,703	2,268
ソフトウェア	1,036	1,100
その他	1,295	3,169
無形固定資産合計	5,035	6,537
投資その他の資産		
投資有価証券	784	619
長期貸付金	51	41
繰延税金資産	4,925	5,075
差入保証金	2,499	2,210
敷金	14,278	14,007
投資不動産	2,969	2,969
減価償却累計額	△1,239	△1,255
投資不動産(純額)	1,730	1,714
退職給付に係る資産	11	—
その他	1,212	933
貸倒引当金	△320	△439
投資その他の資産合計	25,172	24,163
固定資産合計	64,524	64,883
資産合計	182,921	214,341

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,865	24,604
電子記録債務	24,375	31,278
短期借入金	414	412
1年内返済予定の長期借入金	—	108
未払法人税等	1,216	839
賞与引当金	801	777
役員賞与引当金	15	7
ポイント引当金	1,448	1,142
その他	11,843	16,716
流動負債合計	54,980	75,888
固定負債		
長期借入金	1,844	12,765
リース債務	2,483	2,321
退職給付に係る負債	856	918
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,468	4,540
その他	976	954
固定負債合計	10,689	21,560
負債合計	65,670	97,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,120	16,119
利益剰余金	91,226	90,781
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	116,784	116,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	2
為替換算調整勘定	662	696
退職給付に係る調整累計額	△713	△649
その他の包括利益累計額合計	△60	49
新株予約権	491	463
非支配株主持分	35	41
純資産合計	117,251	116,892
負債純資産合計	182,921	214,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	173,948	149,662
売上原価	105,542	90,544
売上総利益	68,406	59,118
販売費及び一般管理費	63,827	56,690
営業利益	4,578	2,427
営業外収益		
受取利息	36	22
受取配当金	15	9
不動産賃貸料	758	521
業務受託料	256	246
助成金収入	—	570
その他	465	357
営業外収益合計	1,531	1,728
営業外費用		
支払利息	11	122
為替差損	57	278
不動産賃貸費用	601	402
業務受託費用	238	187
その他	184	71
営業外費用合計	1,093	1,061
経常利益	5,015	3,094
特別利益		
固定資産売却益	20	—
受取保険金	52	—
投資有価証券売却益	192	—
新株予約権戻入益	69	62
預り保証金解約益	—	118
特別利益合計	334	181
特別損失		
固定資産除却損	163	64
固定資産売却損	1	1
減損損失	1,034	807
災害による損失	59	—
投資有価証券評価損	44	—
店舗閉鎖損失	9	1
特別損失合計	1,311	875
税金等調整前四半期純利益	4,039	2,399
法人税、住民税及び事業税	2,220	1,652
法人税等調整額	150	△147
法人税等合計	2,371	1,505
四半期純利益	1,668	894
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,655	888

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,668	894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	11
為替換算調整勘定	150	34
退職給付に係る調整額	67	64
その他の包括利益合計	59	109
四半期包括利益	1,727	1,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,715	998
非支配株主に係る四半期包括利益	12	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。